宇治 市政だより

発行所 宇治市役所
京都府宇治市宇治琵琶33番地
電話㉒3141(代)
印刷所 KK 新進堂

市の人口
(47年5月末日現在)

世帯数	31,698世帯
前月比	135世帯増
人口	112,633人
男	57,698人
女	54,936人
前月比	577人増

面積
67.29平方キロメートル

46年度決算 苦しい内幕

人口急増で予断を許さない今後の財政

単年度では赤字を免れる

ご存知のとおり、宇治市では人口が急増し、小・中学校の新築や増改築をはじめ、緊急を要するいろいろな事業が増えています。このため、市財政は窮迫し、昭和四十五年度決算では約二億二千三百万円の赤字になりました。

さらに、昭和四十六年度においてもこれらの財政需要が著しく、年度当初では単年度で約五億円、累積で七億円ほどの赤字が予想されていました。

このような市財政の危機に対処して、宇治市では、人口の急増する府下の二市十一町とともに、国および府に対し抜本的な財政措置を講じるよう要望。市議会も意見書を提出しました。このように、市・議会・住民が一体となって、住民要求の実現と人口急増団体の財政危機を訴えてきました。

一方、市財政の運用に当たってはこの財政難を打開するため、公共用地取得の財源に土地開発基金積立金から一億円をとりくずし充当するとともに、さらに、昭和四十六年度分として交付税需要額に算入されていた、土地開発基金一億二百四十六万円を一般財源として措置しました。

また、国においては、景気後退による地方税の減収対策として一千億円の特別事業債が措置され、宇治市には京都府を通じて一億九千万円が許可されました。また、京都府からは、教育施設の整備に伴う超過負担などを中心に、宇治市に対する財政援助措置として、京都府自治振興資金九千六百五十万円が許可されました。

このように、市財政の運用上とった一連の措置と、国や府においてとられた財政措置により、年度末に至って、赤字額は三億円前後に減少する見通しになりました。

さらに、市税収入の確保に努力を重ね、徴収率は前年度の九十四%を一%以上も向上させることができました。このことは、職員の徴収努力もさることながら、市民のみなさんが人口急増下にある市の財政事情を理解され、納税にご協力いただいたたまものです。

なお、予算執行にあたって経費の節減に努めたこと、用地買収などが難行したため、若干の不用額が見込まれることなど、昭和四十六年度の決算見込では、昭和四十五年度からの持ち越し赤字額約二億二千三百万円の上に、新たな赤字を出すことは避けられることが確実となりました。

険しい健全財政への道

以上のように、昭和四十六年度決算では、憂慮された財政の危機を一応乗り切ることができたわけであります。このことは、前述のように、市長を先頭に、議会・労働組合・住民が一丸となって財政の危機を訴えてきたことが基礎となっており、税の減収補てん措置京都府からの財政援助がこれらを呼びこんだものと考えられます。しかしながら、これは市自体の財政構造が好転したことによるものではなく、土地開発基金の運用と地方債による臨時的な財源措置が主な原因となっている点から、むしろ、昭和四十七年度以降に問題の解決を残しているといえます。

つまり、人口急増団体に対する財源措置が地方債中心に行なわれている現行制度のもとでは、元利償還（公債費）が年々急激に増えており、後年度の一般財源を圧迫し、財政の硬直化をもたらす要因となってくることは明らかです。

また、人口が急増する宇治市の財政需要は、昭和四十七年度以降においてもさらに増大するため、財政事情はなお予断を許さない状態にあります。

このため、市では今後とも、国や府に対して人口急増団体の窮状を訴え、公債費対策をはじめ、超過負担問題・交付税問題など人口急増団体に対する抜本的な財政措置を要望し、住民要求の実現に努力したいと考えています。

二億三千万円を繰上げ充用

なお、五月二十九日の臨時市議会で、昭和四十七年度宇治市一般会計補正予算第一号が提案され、前年度繰上充用金の限度額として二億三千万円が議決されました。

この補正予算は昭和四十六年度一般会計の決算見込において赤字を出す見込みであるため、地方自治法施行令第一六六条の二の規定により、翌年度の歳入を繰上げてあてるためで、繰上充用に必要な額を昭和四十七年度の歳入歳出予算に編入したものです。

騒々しい宇治の町

主要幹線道路での測定結果

市では、ことしの二月から四月にかけて、市内を通る国道や府道・市道などの主要幹線道路で道路騒音を測定。その結果がまとまりました。

この騒音測定は、市内全域にわたって三十二地点を選び、自動車騒音についての実態をつかむために行なったものです。

調査方法は、一つの測定地点につき、朝・昼・夕の三回にわけてそれぞれ五分間づつ測定し、最も高い騒音値、最低の騒音値とともに平均値を出しています。

騒音についての環境基準は地域および時間帯によりちがいますが住居地域では昼間五十ホン以下、住居とあわせて商業・工業の用に供される地域では昼間六十ホン以下と決められていますが、この測定結果によると、六十ホン以下は三十二地点中十二カ所で、半数以上が環境基準値を越えていることになります。

なかでも、国道二十四号線の槙島・京都家政短大前では平均七十四ホンを記録。府道宇治京都線の東宇治消防出張所前、同宇治高校前、同木幡東中、府道宇治淀線の城南高校前、同大久保自衛隊前などでも平均七十ホンを越えています。また、瞬間の値ではありますが、市道大河原線のユニチカ中央研究所前や府道宇治淀線の城南高校前では、九十九から百ホンを記録しました。

平均74ホンを記録した国道24号線の家政短大前

これらの高い騒音は、バスやトラックの通過したときに多く、交通量の激しいところほど騒音の平均値が高くなっています。

この調査は、交差点を除いて走行している自動車の騒音を測定したものですが、宇治市の道路は大都市なみにかなり騒々しく、市民のみなさんはまともに交通公害を受けているといえます。

市では、この測定結果をもとにさらに環境調査を進めることにしていますが、公害をなくすためには、何よりも市民のみなさん一人一人の自覚と協力が大切です。

（公害交通対策課）

市議会だより

五月の議会は、前後二回にわたって臨時会が開かれました。

五月臨時会は まず九日に開かれ、宇治市市税条例の一部改正条例、宇治市農地課税審議会条例など四議案を審議し、質疑討論の後起立多数で可決。ほかに市税条例の改正に関する意見書など二件が提出されいずれも可決。また、大気汚染や水質汚濁など市民生活に大きな不安と環境の破壊をまねくPCBの製造使用について、全会一致で反対の決議をしました。

二十九日の臨時会は、昭和四十七年度宇治市一般会計補正予算ほか三件を議決の後、さきに市長が発表した宅造指導要綱の改正案について緊急質問がありました。市長から『この改正要綱は人口急増対策に対する暫定措置として運営し、本質的にはなくてもよいようなものになるよう努力する』という答弁がありました。また、アメリカのベトナム戦争拡大、日本の基地協力に抗議する特別決議を採択しました。各委員会の動きは次のとおりです。

◇**総務厚生委員会**＝二日、臨時会に提案される議案の説明を理事者から受け、十六日には請願審査を行ない、児童公園設置に関する請願ほか一件を全会一致で採択。

◇**建設委員会**＝四日にさきの定例会で付託された市道四十七号路線舗装についての請願を審査し、全会一致で採択しました。

◇**経済水道委員会**＝八日、宇治郵便局新築促進についての請願を採択。十二日には養鶏団地及び白川協同製茶場の現地視察を行ないました。

◇**文教委員会**＝十二日には市教委より昭和四十七年度宇治市学校教育指導の重点施策について説明を受け、三十日には請願審査を行ない継続審査としました。

◇**公害対策特別委員会**＝草津のコンデンサー工場で起ったPCB公害に関連して、市内にあるコンデンサー工場の実体調査のため十一日に現地視察を行ない、同工場ではPCBを使用していないことを確認しました。

◇**京滋バイパス対策特別委員会**＝二十日に路線計画案に対する環境保全に関する請願を審議し、全会一致で採択。

◇ ◇

市議会では毎年、先進都市を見て学ぼうと行政視察を行なっています。この行政視察はどこの市議会でも行なっており、自分の市だけを見て市政を論ずるのでなく、広く各都市の開発の事情や、理想に向って進む状態などを実際に見学し、宇治市の将来を築く足がかりとするためのものです。

今年は各会派毎にまず四会派（市政研究会・民社クラブ・中正会・公明党）が委員会のあいまをぬって、それぞれの行政調査のため先進都市を視察してきました。

PCB問題を研修

十八日及び十九日の二日間滋賀大学の堀太郎・鈴木紀雄先生、京都衛生研究所の藤原邦達先生を講師に招き、琵琶湖汚染並びにPCB公害についての研修会が全議員参加して行なわれました。

今月の出張徴収

六月二十八日（水）
旦椋公会堂・広野公民館
伊勢田公民館・開公民館

六月二十九日（木）
木幡公民館・東宇治消防出張所

六月 三十日（金）
川東公民館・神明公民館

◎時間はいずれも午前十時から午後四時までです。もよりの会場へお越しください。

くらしに夢を、企業に発展を

ボーナスは京銀へUターン

ボーナスを記録しましょう
そして 大きくふやしましょう

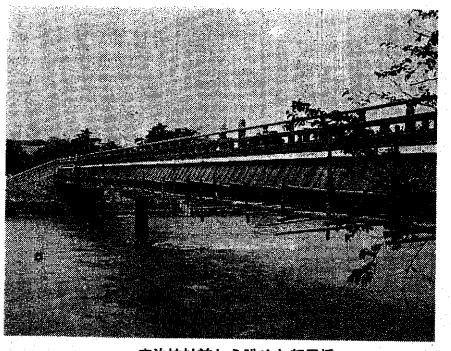
ボーナス専用のUターン通帳ができました。
日頃のサラリーとは分けて、ボーナスの収支明細を
はっきりご記録いただくための普通預金通帳です。
せっかくのボーナスです。ボーナスがでたら、
この通帳にそっくりUターン、ひとまず預けて、
それから、お買物計画、ふやす計画をたてましょう。
これが、ボーナスを大きく生かす上手な
「ボーナス運用法」です。

京都銀行

藤城清治さんの美しいポスターをご用意しています。

朝霧橋（あさぎりばし）が完成

六月十八日から通れます



宇治神社前から眺めた朝霧橋

宇治川の塔の島（中ノ島）と川べ、幅員が三メートルの歩行者専用橋で、工費四千六百万円で昨年の十一月に着工。橋名は市民のみなさんからの多数の応募の中から朝霧橋に決定し、橋の色も風致を害さないようにと、らんかんは茶色、橋げたは濃い緑色のツートンカラーで、ぎぼしには青銅を使っています。

宇治橋通りの交通量は増える一方で、この朝霧橋の完成で、歩行者の方の安全や歩行距離の短縮、観光客のみなさんの利便などに大変役立つものと考えられます。

なお、十八日の朝霧橋竣工式は午前十時から行なわれ、市内にお住まいの三代夫婦の方二組、地元の小学生・園児などが渡り初めを行ないます。また、このあと、アトラクションとして、宇治川先陣争いをかたった武者行列やバトンガールなどが朝霧橋・宇治神社前・宇治橋・平等院通り・塔の島のコースで巡回することになっていますのでごらんください。

（土木課）

憲法を暮らしの中に生かそう　市民の参加する民主市政を築こう

市民相談を充実

七月から部長による特別相談日を開設

市では、市民のみなさんに市役所を結ぶパイプ役として、昨年の十月に公聴係を設け、市政についての要望や苦情はもちろん、他の官公庁に対する要望や苦情、日常生活でのお困りごとなどについての相談を受けています。

この四月と五月の二カ月間に、市民相談の窓口に寄せられた「市民の声」は合わせて八十二件もあり、七月から次のとおり特別相談日を設けることにしました。原則として各担当課長が相談にあたりますのでご利用ください。

◎毎月第一木曜日＝ゴミや環境衛生・福祉などの民生部関係
◎毎月第二木曜日＝道路・下水・公園などの建設部関係
◎毎月第四木曜日＝公害や交通など市民経済部関係

◎時間はいずれも午前十時から正午までの二時間です。

（文書広報課）

交通災害共済の出張受付

「はいって安心、一日一円の宇治市交通災害共済」――交通事故の悲劇がもたらす不幸については、みなさんすでにご存知のとおりです。市では、六月二十三日から、次の日程で交通災害共済の出張受付を行ないます。この機会をご利用になって、あなたも家族ぐるみでご加入ください。

六月二十三日（金）＝伊勢田公民館
六月二十四日＝大久保団地内の石村民宇前と北団生乳店前
六月二十五日＝小倉公雑踏・小倉公民館・小倉デパート前
六月二十六日＝緑ケ原集会所
六月二十七日＝広野公民分館・朝日ケ丘団地入口の石井商店前
六月二十八日＝旦椋公会堂・開公民館
六月二十九日＝木幡公民館・東宇治消防出張所前
六月三十日＝神明公民館・川東公民館

◎時間は各会場とも午前十時から午後三時までです。

（公害交通対策課）

くらしと物価の学習会

六月二十三日（金）午前十時から、伏見信用金庫六地蔵支店で、「身近かな消費者物価の動きとくらし」について学習会を開きます。講師は同志社大学助教授の岩下正弘氏です。お気軽にご出席ください。

（教育委員会）

市職員を募集します

申込受付は7月1日～7月20日

昭和47年度宇治市職員採用試験を次のとおり行ないます。

◘試験区分と受験資格

保母・幼稚園教諭＝昭和23年4月2日以降昭和30年4月1日までに生まれた人で、保母の資格もしくは幼稚園教諭免許を持っている人。または、保育専門学校および短期大学以上の学校を昭和48年3月卒業見込みで保母資格もしくは幼稚園教諭免許を取得見込みの人。

土木技術職員および建築技術職員＝高校以上の学校で土木および建築の課程を修得し、卒業もしくは昭和48年3月卒業見込みの人で、昭和17年4月2日以降に生まれた人。（高校卒業見込者については10月7日に採用試験を実施する予定）

◘試験の日時と場所

7月23日（日）午前9時から市民会館で第1次試験

◘受験手続きと受付期間

(1) 受験申込み用紙は宇治市役所職員課へ請求してください。郵送希望の方は20円切手をはり、住所・氏名を書いた返信用封筒を同封してください。

(2) 申込み用紙に必要事項を記入し、最近6カ月以内に撮影した本人の写真を貼り、市役所職員課へ提出してください。

(3) 申込みの受付は7月1日から7月20日までです。（平日は午後5時、土曜日は正午までです）なお、郵送の場合は締切日の消印のあるものまで受付けします。

◘受験についてのお問い合わせ

くわしくは、市役所職員課（電話㉛3141番）までおたずねください。

7月1日からオープン

黄檗公園市民プール

料金は　大人 100円、　小人 50円

黄檗公園市民プールは七月一日からオープンし、市民のみなさん方にご利用していただきます。

この市民プールには、五十メートル競泳用のほか、深さ三十～四十センチのこども用ひょうたんプールがあります。夏のレジャーと体力づくりのために、家族そろって、お気軽にご利用ください。

◘プールの開設日

- 七月　一日（土）＝午後だけ
- 七月　二日（日）＝全日
- 七月　八日（土）＝午後だけ
- 七月　九日（日）＝全日
- 七月　十五日（土）＝午後だけ
- 七月　十六日（日）＝全日
- 七月十七日から七月二十日までは、いずれも午後だけ
- 七月二十一日から八月三十一日までは、いずれも全日
- 九月一日と二日＝午後だけ
- 九月三日（日）＝全日

（注）全日とは午前十時から午後六時まで、午後だけは午後一時から午後六時までです。

◘入場料

一回入場するごとに、大人は百円。こども五十円です。時間に制限はありません。

◘貸切使用も

プールの一般使用日以外の日には、団体による専用貸切制度もあります。希望者は黄檗公園管理事務所（電話31―五八〇八番）までご連絡ください。

（都市計画課）

宇治川のう銅

八月三十一日までの連夜、宇治川塔の島畔で、う飼が繰り広げられます。

さい近、PCBによる宇治川汚染問題がマスコミなどであげられていますが、観光協会としても、市民の憩の場、生活の場である宇治川を公害から守るための働きかけをしています。その意味からも、市民のみなさんとともに、夏の夜の風流であるう銅の灯を絶やさないようにしたいものです。

蛍鑑賞の夕

- とき…六月十七日（土）午後六時から（雨天の場合順延）
- ところ…宇治川塔の島
- 小学生以下のこどもには、先着一二千名まで、螢を三匹づつさしあげます。なお、螢かごは持参してください。
- 六月十八日までの連夜、塔の島のほとりに〝螢船〟を浮かべますのでご鑑賞ください。

（観光協会）

水道工事

三業者を新しく指定

宇治市水道部では、六月七日付で、次の三業者を水道給水工事公認業者として、新しく指定しました。これまでに指定している十五の公認業者とあわせて、水道の新設や修繕工事などにご利用ください。

▽KK福岡ポンプ＝小倉町東山三　電話22―五二三三番
▽池田工業所＝木幡河原ノ四　電話32―二六八〇番
▽関口工業＝菟道門の四二の二　電話22―八三八八番

（水道部）

年金だより

七月から保険料は　月五五〇円に

定額保険料（年金に加入すれば必ず納めなければならない金額）は、ことし六月分までは月四百五十円ですが、七月分から月五百五十円になります。

この定額保険料の他に、所得比例制があり、六月分までは八百円七月分からは九百円を納めると、六割増の年金が受けられます。納めていただく期間はいずれも加入を申し出られた月から六十歳まで、年齢に応じて最低必要期間が決められています。

◇　◇

ことしの六月末までに限り、時効になっている以前の未納保険料もさかのぼって納付できますのでこの機会に納めてください。

（保険年金課）

（センターライス取扱店）
村田米穀店
宇治市五ケ庄西浦49
電話（31）8044番

（センターライス取扱店）
池本米穀店
宇治市小倉町久保60
電話（21）2448番